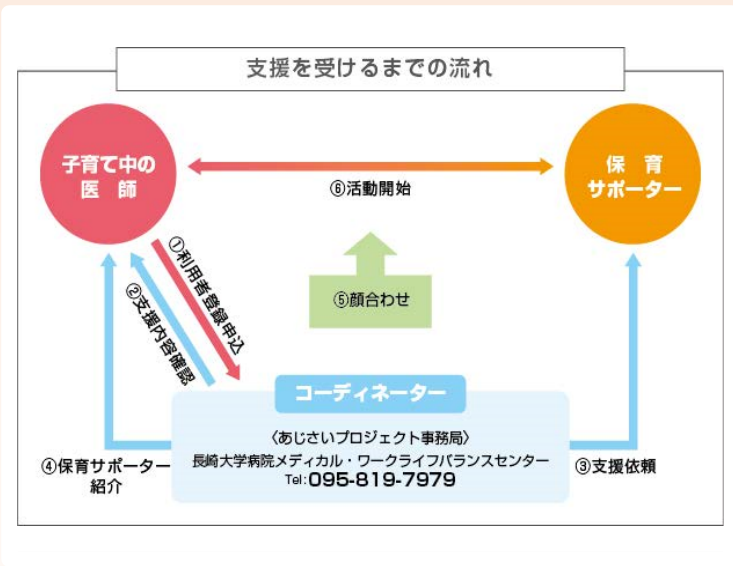


医師の仕事と子育ての両立を応援します！



長崎医師保育サポートシステムは、県内の子育て中の医師の「仕事と育児の両立」を図るために、医師のニーズに応じて、保育サポーターの情報提供・紹介を行い、マッチングをコーディネートするシステムです。おかげさまで、システム利用数は年々増加しており、これからも医師が子育てをしながらも目標や夢に向かって活躍できるように、その一助になれば幸いです。



システム利用可能な地域は長崎、県央、佐世保・県北、県南、上五島、吉岐医療圏ですが、保育サポーターの登録数が少ない地域もごございますので、利用希望の際は、まずはセンターへご相談ください。



保育サポーターを募集しています！

こんな方にピッタリ！！

♡子どもが好き！

あなたの保育経験や子育てキャリアが活かれます。

♡空いた時間を使いたい！

活動する日数・時間帯はご希望をもとに相談して決めます。

おおむね1～2時間の依頼が多いです。

♡社会貢献がしたい！

あなたが支える医師が、安心して働くことで、長崎県の医療に貢献できます。

保育サポーターに興味がある方がおられたらご紹介ください。

保育サポーター スキルアップ研修会 2023.9.4



講師
榎山 智子氏 (日本赤十字社 長崎県支部)

「乳幼児の一次救命」を学ぶ

もしもの事故に備えて、サポート中に役立つ知識の習得・スキルアップのため、座学と人形を用いた実践形式で学びました。実際にAEDを使用し、救命現場さながらの雰囲気でした。

いつでも受講可!

DVD視聴による保育サポーター説明&研修

説明・研修用DVDの貸出を行っています!

保育サポーターの登録を検討されている方は、センターまたは自宅で、説明・研修用DVDを視聴していただきます。

◆システムの概要説明

◆研修①『子どもの心理的サポート』

吉田 ゆり先生 長崎大学ダイバーシティ推進センター 前センター長
長崎大学教育学部 教授

◆研修②『こどもの応急処置～病院へ連れていく前に～』

長谷 敦子先生 長崎大学病院医療教育開発センター
長崎外来医療教育室 室長・教授



皆さまの声

2023年度に保育サポートシステムと関わりのあった皆さまから、メッセージをお寄せいただきました。貴重なご意見は、今後の運営に反映してまいります。ありがとうございました。

利用者（医師）の声

●産後は早期復職を考えていたため、あじさいプロジェクトWebサイトの「長崎医師保育サポートシステム」を見て、生後5か月の時から利用しています。保育サポーターさんは本当に優しく気遣いができる方ばかりで、子どもをとっても可愛がってくださいます。現在は週2回、午前と午後で4人の保育サポーターさんが交代で自宅に来てくれて、大変助かっています。育児の相談もできますし、毎回気づいたことなどを伝えてもらい有り難いです。今後も利用したいと考えています。

●第1子出産後、頼れる親戚が近隣にいない状態で復職となり、育児と仕事の両立に不安があったため「長崎医師保育サポートシステム」の利用を決めました。主に休日の日直の際に、自宅で保育、家事支援をお願いしています。また、料理をする元気がない時などに常備菜を作ってもらうこともあります。ベビシッターやヘルパーなどは利用したことがなく、はじめは不安でしたが、こちらの希望に的確に伝えてくださり、本当に助かっています。仕事との両立に葛藤することが多い中で、子どもとゆっくり過ごす時間を確保でき、家族全員の幸福度が上がりました。子どもにとっても親以外の大人との関わりが増えることで、得るものが多いと感じます。引き続き利用して子どもの成長を見守っていただきたいです。

●週4回、平日に下の子の食事介助と子ども2人の保育園のカバン整理、余裕があれば洗濯物たたみをお願いしています。妻が仕事を終え、子ども2人を保育園に迎えに行き、帰宅したところからサポート開始です。私の帰宅時間が毎日異なり安定しないので、週4日利用できることで妻のワンオペ育児が軽減されています。今は『長崎医師保育サポートシステム』が生活の一部となっており、無くなることを考えるとおそろしいほどに助かっています。

●週1回、保育園のお迎えとその後の保育で1時間程度の利用ですが、それでもすごく楽になりました。保育園へ急いでお迎えに行かなければと、時間が近づくと気持ちに余裕が無くなっていましたが、今は頼んでいる日は安心して仕事をする事ができます。今後も引き続き利用したいと思います。

保育サポーターの声

●第二子ご出産後の数カ月間、赤ちゃんのお世話や家事支援、ミルクキットでの調理、上のお子さんの習い事の送迎などで週1~3回、1回5時間前後のサポートをしました。ご家族に信頼してもらえるサポートを心掛けながら、毎回学びや反省点がありました。お子さんの笑顔やご家族で触れ合う様子、気さくにお話しくださる先生に、こちらが笑顔になり、宝物のような素敵な時間を過ごさせていただいたことに心から感謝しています。

●医師宅で生後5か月の頃から11か月頃までお子さんのお世話をしていました。寝返りやお座り、ハイハイができるようになっていく様子を見るのがいつも楽しみです。先生が準備した離乳食で、スムーズにミルクから移行できました。小さなお口をめいっぱい開けて食べる顔がとてかわいらしくこちらまで笑顔になります。これからも応援団の1人としてお役に立てれば嬉しいです。

●保育園から帰宅後に、翌日の登園準備、お子さんの食事の介助を主に行い、買い物、洗い物、洗濯物の片付けなどをお母さまのご希望に沿ってサポートしています。二人のお子さんが日々成長し、新たな一面を見せてくれるのがとても楽しく、成長に合わせてサポートのやり方が変わっていく事が興味深いです。効率よくできたらという思いが空回りし、お子さんに不快な思いをさせていないか不安もありますが、しっかり向き合っただけの楽しい時間を大切にしたいと思っています。

いざという時に
頼れて安心!



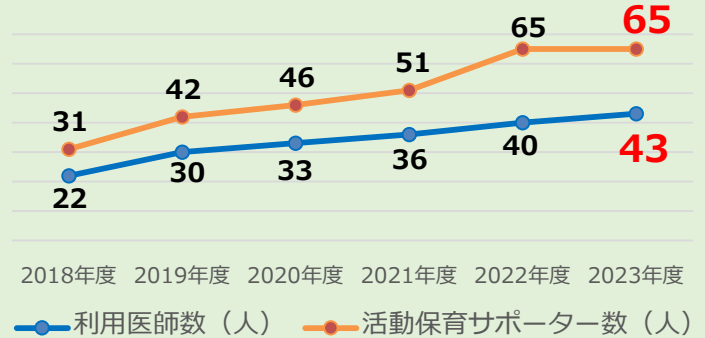
2023 年度

活動状況

2023/4/1～2024/2/8現在

2023年度	利用者 (医師)	保育 サポーター
新規登録数	18名	25名
登録総数	72名	256名
うち利用/活動実数	43名	65名
資料請求数	20件	32件

利用医師・活動保育サポーター推移



主な活動内容

- ・ 医師宅やサポーター宅での保育
- ・ 保護者在宅中の乳児見守りや保育、沐浴の補助
- ・ 送迎のみ（保育園、幼稚園、習い事、学童等）
- ・ 保育園、幼稚園、学童へのお迎え＋その後の保育
- ・ 病児保育（医師宅での病児、病後児保育等）
- ・ その他（外遊び、外出先や行政施設での保育等）など

＋保育と併せて家事支援（掃除、洗濯、食事作り等）を行う場合もあります。

活動回数の月平均は254回で、毎年増加しています。
保育＋家事支援など、定期での利用も増えています。



利用中の医師と活動中の保育サポーターの皆さまへ

2024年3月活動分までの「活動報告書」は、**4月5日（金）までに必ずご提出ください。**

（難しい場合は、一旦期日までに電話かメールでご報告ください。）

※各機関へ詳細な実績報告が必要なため、ご協力をお願いします。

医師の皆さまへ

◆登録内容（住所、勤務先、支援を受ける子どもの人数など）に変更がある場合はセンターまでご連絡ください。

◆同封の「登録確認書」は**3月4日（月）までにセンターへご提出ください。**

保育サポーターの皆さまへ

◆登録内容（住所、活動可能な時間帯、活動内容）に変更がある場合や、登録抹消をご希望の場合はセンターまでご連絡ください。

◆円滑な相互連絡のため、**メールアドレスの登録にご協力をお願いします。**ご利用の携帯電話やパソコンのメールソフトから、下記へメールを送信ください。

宛先：info01@nagasaki-ajisai.jp

※本文にはお名前を入力ください。

